

飛 翔

石川県立金沢西高等学校同窓会

〒920-0344 石川県金沢市畝田東3-526
TEL 076-268-4321/FAX 076-268-7329
URL <https://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>



NISHIKO 50 のスタートとして

同窓会長 大畑 晃一

(5期生 昭和56年卒)



昨年来の新型コロナ禍も一段落し、明るい兆しが見え始めてはいますが、コロナ前の生活を完全に取り戻すにはまだしばらくの時間と辛抱が必要かと思われま

す。2021年3月卒業の第45期生を加え、母校の卒業生は1万6000名を数えるまでになりました。多くの卒業生が様々な分野で社会に貢献し、コロナ禍でも必死に仕事に励んでおられることと思います。一方、大学や短大等に進学した人たちは、「自粛」という言葉の下で、対面の授業もなく友達との交流もなく、本来あったはずの夢と希望の学生生活が送れないという厳しい現実には戸惑っていると思

います。学校はコロナ禍の中で感染防止を徹底し、先生方はオンラインによる学習指導、授業確保、例年の文化祭に変わる行事の開催など、本当に大変な1年だったと思います。昨年の学校休業や分散登校、集団での活動ができず、「生徒は自主・自立を発揮する場を得られたか」と心配する点もあるようですが、『協調 自主 創造 清純』という校訓は確実に受け継がれたと信じています。

同窓会活動も「自粛」の下では多くの行事を中止・縮小せざるを得ませんでした。総会は理事の皆様のご了解のもと、書面での報告とさせていただきます。誠に残念に思い、人々が集うことのできない歯がゆさを痛感しております。今年度も昨年に引き続き、対面での総会は開催できず、書面での報告になります。コロナ禍が早く収束し、以前のように大勢が集える日が来ることを願うばかりです。

前述のとおり、同窓会は第45期生を迎え、在校生としては48期生までが在籍しています。母校は間もなく創立50周年になろうとしています。100年を超える伝統校には及びませんが、半世紀の歴史を持つことで、一人前の高校になれるのではないのでしょうか。昭和49年の創立当時の先生方や保護者、先輩方が思い描いた金沢西高校の姿になれているのでしょうか。そんなことも聞いてみたいような気がします。

学校では、すでに「創立50周年」の準備が始まっています。同窓会としても「NISHIKO 50」として学校と連携しながら1万6000名の力を結集して盛大なイベントとなるように頑張っていきたいと考えています。同窓生の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

挨拶

学校長 小幡 喜宏



本校は、昭和49年に開校し、1万6000名を超える卒業生が各方面における有為な人材として、県内外で活躍しています。そして令和5年には、創立50周年を迎えることになります。

平成8年4月より、石川県の全日制普通科高校では初となる単位制のシステムを導入し、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、多様な進路選択に対応できる進学校として注目を浴びてきました。しかし、近年では四年制国立大学への志望者の割合が増加し、平成25年度の入学生より、学年制に移行しました。また、平成24年度より3年間、県の指定を受けた「高等学校連携による教育力向上推進事業」は、27年度より発展的後継事業として「いしかわ探究スキル育成プロジェクト」となり、生徒の論理的思考力育成等、学力の向上に向けて取り組んできました。さらに平成31年度からは「高等学校における探究型学習推進事業」の指定を受け、探究的な学習の充実に努めています。探究型授業スキルの向上やICTの効果的な活用等、学校連携による授業改善や進路指導研究によって、卒業後の社会で必要とされる資質・能力の育成を目指しています。

また本校は、進路実現には不可欠の心身の錬磨による人間力の向上のために、部活動の活性化にも積極的に取り組んでいます。現在、19の運動部と16の文化部・同好会があり、恵まれた施設設備のもと、熱心に活動しており、フェンシング部や空手道部、陸上部、棋道部(囲碁将棋)をはじめ、多くの部活動が全国大会や北信越大会への進出を果たしています。また、西高祭をはじめ、さまざまな学校行事にも生徒たちは主体的かつエネルギーに取り組み、充実した高校生活を送っています。

本校は県庁に隣接し、金沢駅からのバスの便も良く、平成27年3月の北陸新幹線金沢開業を機に、いしかわの玄関口として日々発展する地域にあります。そうした地域の一員として、生徒たちは、清掃活動や紙芝居制作・子どもたちへの読み聞かせなど、さまざまなボランティア活動を続けてきました。しかし、コロナ禍により教育活動は制約を受け、部活動等の自粛や学校行事の縮小というときもありましたが、工夫を凝らしてできる限り実施してきました。

今年度は、50周年の節目を迎えるにあたり、新入生は新しい制服に変わりました。また、GIGAスクール構想推進に向けて、ICTを活用した教育活動の充実にに向けて研究を進めていきます。地域に信頼され、いしかわの未来を拓く人材の育成を目指し、きめ細かな個に応じた指導によって、生徒一人ひとりの進路実現に職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、本校の教育活動に対して、皆様方のご理解とご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

母校の様子

～部活動状況～

野球部

僕たち3年生はマネージャーを含め14人の学年です。3月に世界中で流行しだした新型コロナウイルスの影響で休校となり、野球をすることができなくなりました。初めのうちには春季大会までには部活動は再開できるだろうと思っていましたが、春季大会どころか夏の選手権大会まで中止になってしまいました。6月から学校が再開されましたが、3か月間野球ができず、しかも目標を見失った状態での再開でした。しかし、ミーティングをした時に、たとえ大会がなくとも最後まで野球部員として練習をしていこうと意見がまとまりました。この時ほど仲間がいる大切さ、野球ができる喜びを感じたことはありません。高野連が開催してくださった代替大会では金沢地区予選を突破したものの、県大会初戦で敗れてしまいました。けれど、全員が力を合わせ最後まで全力で戦い抜いたことで、僕たちは笑顔で引退することができました。

男子バスケットボール部

県内ベスト8という目標で新チームがスタートしました。11月の新人戦では三回戦で県内ベスト4である星稜高校と対戦をしました。一つ前の大会よりも点差は縮まったものの、自分たちに足りないものは何か、今なすべきことは何かということを考える良いきっかけとなりました。

しかし、コロナの影響で試合や練習ができない時期がありました。4月からの大会は全て中止となり、総体も中止になりました。自分たちは次の大会で「ベスト8に入るぞ」と強く思っていたので全員が悔しい思いをしました。代替大会では少しでもこのメンバーでプレーできるようにと挑んだものの、結果は悔しいものとなりました。それでも多くの経験は自分達の成長の糧となったと思います。バスケットを通して自分達は多くのことを経験することができ、多くのことを学びました。

女子バスケットボール部

コロナの影響で目標としていた大会がなくなってしまう、残念でしたが、最後に試合ができる機会を設けてくださった方々や、共にたくさんのかつを乗り越えてきた仲間たちには、心から感謝しています。

1・2年生の皆さん。今後もコロナの影響で何が起こるか分からないからこそ、今バスケットができる環境にあることに感謝して、切磋琢磨し合える「仲間」となり、頑張ってください。応援しています。

最後に、部活動を通して学んだことはとても貴重な財産であり、今後はこの経験を社会で活かしていきたいと思えます。

この部活に入って本当に良かったです。

ラグビー部

ラグビー部は3年生1人、2年生4人、1年生1人、マネージャー7人で活動しています。人数が少ないので合同チームとして日々の練習や合宿、県外での練習試合にみんなで切磋琢磨して臨みました。時に意見の違いから言い争いをしたこともありましたが、様々な経験をを通して、全員が全力で挑んだ大会では一回戦を勝ち進むことができました。前年度の大会は一回戦で敗れ悔しい思いをしたので勝つことができると本当に嬉しかったです。「痛い」「ツライ」練習を仲間と共に乗り越えたからこそ得られた勝利だったと思います。心が折れそうな時に支えてくれる仲間が、楽しい時分から笑いあえる仲間が、ラグビー部にはたくさんいます。人数が少ないラグビー部だからこそ、先輩後輩関係なく仲が良く、合同チームとしての活動を通して他校にも多くの仲間ができる部活はラグビー部しかありません！

サッカー部

「本気」というテーマを胸に新チームが始まりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により4月から休校となり、部活動をできない日々が続きました。それによって当たり前過ぎてきた日々のありがたさに改めて気づくことができました。私たちが充実した部活動を送れたのは、勝った喜びも負けた悔しさも辛いことも全てを共にして仲間、選手を支えてくれたマネージャー、技術だけでなく社会性も学ばせてくださった先生方、私たちに寄り添ってくださった保護者の方々のおかげです。本当に感謝しています。最後にこのサッカー部での3年間で個人としても、部としても大きく成長することができました。

男子バレーボール部

西高男子バレーボール部はとてもみんな熱心に取り組む部活です。今年は新型コロナウイルス拡大の影響で、総体・総文が中止という事態になってしまい、気がついたらもう引退みたいな形になり、締めが悪いまま引退してしまっただけで多少悔いが残りますが、今振り返ると結構、異常事態でなければ経験できなかった貴重な体験だと思いました。全体を通して、この男子バレーボール部に入ったことはよかったですと誇りに思います。みなさんも、なんとなく入ってみようかなとか、ハイキューで憧れたとか、理由はどんなものでも、気が向いたらバレーボールをやってみたらいいと思います。

女子バレーボール部

私達女子バレーボール部は、3年生5人、2年生12人、1年生12人で活動してきました。三年間の部活を通して、悔しいことや辛いことがたくさんあったけれど、それ以上にチームとしても成長できたし、皆とも楽しい思い出を作ることができました。中でも冬休みの合宿での試合は、今までで一番自分達らしいプレーができて、皆の表情も活き活きしていました。コロナの影響で、この合宿での試合が皆で出られた最後の試合になってしまったけれど、悔いのない試合ができたと思います。

皆で部活ができる期間が短くなってしまったのは寂しかったし、新しく入部してきた1年生とも一週間ほどしか関わる機会が無くて、一緒にプレーをしたり、話すことがなかなかできなかったのは残念だったけれど、皆ととても濃い時間を過ごしました。

陸上競技部

陸上部は、30人で活動を行ってきました。部活では印象深かったことがたくさんあります。特に、一人でも西高の選手が出場していたら、その選手が嬉しい結果になったら自分の事のように喜んで、悔しい結果になったら自分の事のように泣いて悔しがる。当たり前になっていたけれど、今思い返すと、西高陸上部として一致団結して応援する、その時間が好きだったし、そのようなことが当たり前に行える優しさ溢れる西高陸上部の部員は本当に自慢できる世界の部員です。コロナによる突然の引退はとても辛かったです。自己ベストを出して終われなかったことより、大好きな仲間と一緒に練習できる時間が無くなったことが辛かったです。どんなに辛い練習も終わった後は、みんなと話してお腹を抱えて笑って、このメンバーだったから辛い練習も乗り切れたと思っています。

空手道部

先輩方が引退して新チームになってから、先輩達が繋いできた北信越出場という伝統を守れるように、様々な努力をしていきました。練習の中に体力作りを兼ねた遊びを取り入れるなど、体力作りとモチベーションを保つための工夫を行いました。そして、功を奏して新人戦大会で男女ともに北信越大会出場を決めることができました。

私は空手道部を通して技術面はもちろん、それ以上に大切な人格であったり、礼儀、努力に対する精神力を養うことができました。そして、仲間がいることの重要性を学ぶことができました。

男子バドミントン部

新しいチームになってからは、なるべく良い結果を残そうと日々の練習を大切にしました。しかし新人戦では、団体戦、個人戦ともにあまり良い結果を出せませんでした。けれど自分の課題を見つけることができ、次の大会までに改善しようと練習に励みました。ところが新型コロナウイルスによって春季大会と総体がなくなってしまい、自分たちの努力の成果を出すチャンスが無くなってしまったと思いま

した。けれど代替大会が行われることになり、最後までバドミントン部のみんなと一緒に頑張りました。だからこそ代替大会を良い結果で終わることができたと思います。

女子バドミントン部

新チームになってから迎えた新人戦では、団体戦でも個人戦でも思うような結果を残すことができず、すごく悔しい思いをしました。そこで、もう一度チームを見直すためにミーティングをし、さらに団結力を深めるために努力をしました。苦しい練習もたくさんありました。

長く続いた自粛期間は本当に不安でした。地区大会、総体が中止になりショックでしたが、一番辛かったのは6月に学校が再開して、部活を引退するか、8月の代替大会まで続けるかを選ぶときでした。みんなで一緒に引退することができず、悲しかったですが、全員でできる最後の部活では部内団体戦を行い、これが今までの部活で最高の楽しい思い出になりました。総体の代替大会は、ダブルスだけの参加になりました。引退したメンバーの想いも背負っての試合はとても緊張しましたが、目標としていたベスト8を獲得することができました。

剣道部

日々の稽古は激しく、辛い時もありました。しかしみんなの頑張っている姿を見て僕も乗り越えることができました。全員がそれぞれの課題や目標に対して一生懸命稽古をしていて、全員で成長し合っていてとても良かったです。今年はコロナ感染防止のため部活の中止や稽古で、できないことがとても多く悔しく悲しい思いをしました。しかし今できる精一杯のことを考えて、みんなで励まし合いながら乗り越えることができました。しかし、コロナにより最後の大会を失ってしまいました。

剣道は個人競技だと思う人もいるかもしれませんが、しかし剣道には団体戦もあります。その上、一人では稽古することもできません。そう考えると仲間にはたくさん支えられてきたと思います。

男子テニス部

私たちの代となり、多くの後輩ができました。賑やかだった部活がさらに賑やかになりました。私にとっては楽しい日々の始まりでした。暑い夏を越え、寒く精神的に辛い冬を乗り越え高校総体に向けて練習に気合を入れようとした時、新型コロナウイルスの流行により部の活動すらできなくなりました。日々できていた練習すらできず、仲間に出会うことができないうる日々を約2か月間過ごしました。心待ちにしてきた高校総体も中止となり、夏頃に開催される代替大会まで残るか、校内戦をして引退するかという選択を迫られました。チーム内でも様々な意見がありましたが、私たちは校内戦をして引退することに決めました。私は、他校の生徒と競うよりも2年間過ごしてきた仲間と楽しみながら終わりたいと思ったからです。

女子テニス部

今年は新型コロナウイルスの影響で多くの大会がなくなりました。仕方ないことだとわかっていても、やるせない思いでいっぱいでした。しかし、だからといって3年間が無駄だったのかというと、そうではないと思います。思い返してみると、夏の厳しい日差しの中の練習、体力をつけるための走り込みなど大変なことも皆で乗り越えてきました。もちろん楽しかったこともたくさんあります。夏の辛い練習の後に皆で食べたアイスは美味しかったし、練習の後の何気ない会話も、とても楽しい思い出です。部活を通して私は仲間と助け合うことの大切さに気づけました。部長としてここまで頑張ってきたことは一人では決して成し得なかったことです。3年間、部活に真摯に向き合い、努力し続けて良かったと本当に思います。

フェンシング部

フェンシング部は、男女一緒に練習しています。部員は多いですが仲良くまとまりのある部活です。

新人戦と北信越大会を勝ち抜いた3種目で全国大会の出場権を得ることができました。

2年半の部活動を通して、私は多くの人と出会うことができました。顧問の先生方をはじめ、フェンシングを教えに来てくれるOB・OGの方々、遠征で知り合った他県のフェンシング部の方々、県内のライバルたち、一緒に練習した同級生

や後輩たち。こんなにも多くの人たちと出会えたのは、他の部活ではできないことだと思います。

卓球部

私の卓球部での活動は、苦しいことが多かったです。練習がハードすぎるなどの肉体面だけでなく、精神的に苦しかったです。でもこれまでを振り返ってみると、結局部活は楽しかったと思います。先輩方は、試合中は気迫が伝わってくる雰囲気でしたが、試合以外ではとても優しく、私とも仲良くしてくださいました。同学年の部員は人数が多く個性的な人達でしたが、とても仲が良く、引退した後も頻りに集まっています。また、突然予想できない行動や発言をする人がいて、大会の会場では大変でしたが、良く言えば見ていて面白かったです。このような楽しかったことのおかげで、苦しいことが多い部活でも続ける事ができました。総体が中止になり、完全燃焼することなく引退となってしまいました。お世話になった先生方、後輩方、部員の皆様にはとても感謝しています。

ソフトボール部

私たちソフトボール部は、「全国大会出場」を目標に掲げ、新チームがスタートしました。最初にあった滋賀遠征では思うような試合ができず、一人ひとりが本気で勝ちにこだわり、チームのために自分がしなければならぬことを考え日々練習に励みました。

そして迎えた新人戦。納得のいく結果ではありませんでした。ベスト4がかかった金沢龍谷高校戦。試合は延長戦へ。互いに一歩も譲ることなく9回を迎え粘り強く頑張った結果、ベスト4を守り抜くことができました。

ですが新型コロナウイルスの影響で全国大会出場の目標は叶わなくなりました。とても悔しかったです。代替大会に向け最後まで努力しました。チームとしての結果は3位。私たちらしく粘り強く頑張ったからこそ勝ち取れたものだと思います。

弓道部

弓道部は、私が部長になった時点で、男子と女子合わせて16人の3年生のみで構成された部活でした。活動場所が学校から離れた所であったため、練習できる時間は他の部活より短く、1時間程度しかありませんでした。どうすれば短時間でも充実した質の高い練習ができるのか。考えた結果たどりついたのが、部員が「協力」し合うということでした。

次に、先輩との協力。ありがたいことに、卒業した4つ上の代の先輩や、受験を無事終えた先輩が指導しに来てくれることが何度かありました。自分だけでは解決できない個々の課題に対して親身になってアドバイスをくれました。そのおかげで、それぞれが課題への具体的な解決策を見つけることができました。

そして、他校との協力。西高の弓道部は桜丘高校と同じ場所練習していたので、桜丘高校に簡易的な練習試合を申し込みました。他校の様子を見ることで、自分たちの強みや見習うべきところを知ることができました。

レスリング同好会

私たちレスリング同好会は、2年生1人、1年生1人の部員数2名で活動していました。少ない人数ながらも互いに鼓舞し合い頑張ってきました。

レスリング同好会は、今年から再始動したため、まずは身体作りから取り組んできました。どんなにきつい時もちもつらい時も、加藤先生の「楽しんで強くなれない。」という言葉に胸に一生懸命頑張りました。また、他の運動部や文化部の筋トレ好きを集めて、みんなで筋トレしました。大勢一緒にする筋トレは2人の時に比べ、より活力に満ちており、終わった後の達成感も素晴らしいものでした。

水泳部

私たち水泳部は、3年生3人と2年生2人、そして今年は1年生が6人も加わり、いつも明るく楽しく活動しています。少人数だからこそ学年の壁を越えて仲が良く、お互いを高め合いながら練習に励んでいます。

水泳部の活動は、主に新人戦と総体への出場です。西高にはプールがないため、練習はいしかわ総合スポーツセンターで行っています。

水泳競技は個人競技で、試合に懸ける思いは人それぞれです。しかし、一人ひとりの目標を達成するには、仲間が必要だと

思います。一緒に練習する仲間や切磋琢磨し合えるライバル、応援し、支えてくれる家族、そして部員のことを第一に考えてくれる先生方など、周りにたくさんの方がいるからこそ頑張れるということを常に心に留めておくことが大切だと感じました。

合唱部

3年生にとって最後の活動だった昨年のアンサンブルコンテストで、私は大きな目標を掲げました。1年生のとき、良い結果を残せずに悔しい思いをしたから「今年は絶対に金賞をとる！」という目標です。金賞をとることは、そんなに簡単ではないので私たちは必死に練習しました。つらい練習を乗り越えていざ本番、今までで一番楽しんで歌うことができました。結果、2つも金賞をとることができて、私はステージで大泣き！(笑)みんなの協力があったからこそ頑張れました。

新型コロナウイルスの影響で、私たち3年生にとって最後の発表になるはずだった総文が無くなり、新しい顧問の先生や1年生との活動ができずに引退しました。新体制の部活をととても楽しみにしていたのでショックでした。それでも、たった2年という時間の中でたくさんの思い出ができました。

軽音楽同好会

軽音楽同好会は昨年発足したばかりの部活です。今は1年生10人、2年生14人の合計24人で活動しています。できたばかりなのでうまくいかなかったり迷ったりすることもあります。部員全員が仲良く、楽しく、そして真剣に音楽に取り組んでいます。今は約2か月に一度「部内発表」という部活内で発表する場を設け、それに向けてみんな一生懸命練習をしています。また、文化祭や校内ライブといった全校生徒に向けて発表することもあります。その他にも今年はコロナの影響でできませんでしたが、他校の軽音楽部とイベントを通して交流したり、老人ホーム・保育園で演奏したりするなど、校外でも様々な活動をしてきました。そしてもう一つ、今年、部活にとって大きな出来事がありました。それは大会への参加です。去年はできたばかりで時間がなく、参加することは叶いませんでしたが、今年は数バンドが参加しました。もともと軽音楽部として参加できる大会は少なく、地域によって参加できない大会もあるので、数少ない大会に向けてこれからも練習に取り組んでいきたいです。

美術部

作品を作るという事はとても大変です。絵を描くにはまず何を描きたいのか、何を伝え、誰に見て欲しいのかなど色々な事を考えます。描くものが決まったら納得のいくまで構図を何パターンも考えたりします。構図が決まりキャンパスに下書きをした後で納得がいかにまた初めからやり直す事もあります。色を塗る際も思った色が出せずに途中でやめてしまいたいと思う事は少なくありませんでした。けれど、作品の事を考えて数か月かけて完成した時はとても達成感があります。そして、一つの事を最後までやり遂げたという事は私の中で小さな自信となりました。

新型コロナウイルスの影響で心残りや、やり残した事はたくさんあります。作品は未完成のままになり、後輩達との交流も短期間だけとなり、引退してしまいました。しかし、やり遂げた事もこの3年間でたくさんありました。それを振り返ると私は美術部で良かったと思えます。

写真部

年に2回開催される展示会では、他の学校の写真部の方が撮った写真を見られたり、自分が出品した写真をプロの方に見ていただいてアドバイスをもらったりもできました。1年生の秋の展示会ではあまり良い評価をもらえなかったけど、2年の秋の展示会では褒めてくれる方もいて、成長できたかなと思いました。

今年は3年生最後の展示会が行われなかったのですが、私たちは引退前に写真を出品することができなかったけれど、2年間の写真部での活動を通して、写真の奥深さを知りました。写真を撮ることは思っていたより難しく、光の当たり具合や、ちょっとの角度で写真の印象が変わります。どうやったら納得のいく写真を撮れるのか試行錯誤した時間はとても意味のあるものでした。これからもたくさん写真を撮っていききたいと思います。

放送部

僕たち放送部は3年生4人、2年生1人、1年生4人の計9人で活動してきました。放送部は、毎週火曜日のお昼の放送や文化祭のステージでの司会などを行ってきました。今年は新型コロナウイルスの影響で学校に登校出来ず、2年生が1人しかいなかったため、引退の時期を延長し、その後引き継ぎもままならないままの引退となり、残念に思っていました。でも、活動再開後のお昼の放送では、生徒のみんなからもらったリクエストを参考に皆で話し合いながら楽しく曲を決める事ができてとても楽しい時間を過ごすことができました。

このコロナ禍でのラグビー部の練習を取材した「明日に向かってトライ！」はその後、富山県で行われる北信越大会(特設部門)に映像で参加できることとなりました。また、11月の新人大会では朗読部門(個人)で、1年生が入賞を果たしました。

科学部

科学部は部員数は少ないですが、仲よく活動を行ってきました。週に二日という他の部と比べると活動日数の少ない部活ではありますが、身近な現象を科学実験で調べる、これが科学部の主な活動です。

この他にも科学部では、総文の期間や夏休みなどに、石川県内の高校の科学部が集まって大学で専門的な実験を行ったり、講座に参加するなどの活動も行います。その他にも選ばれば東京に行くこともできる「聞き書き甲子園」にも参加しています。

このように様々な活動を行っている科学部ですが、その中でも一番大きな活動というのが春休みにある合宿です。自然体験や科学的見学をするという条件で、行く場所などは自分たちで決めることができます。私達の時は、和歌山県に行く予定だったのですが、新型コロナウイルスの影響で行うことはできませんでした。しかしプランを立てる中で、その場所の歴史的背景や地理的な情報を調べるなど様々なことを知ることができました。

華道部

華道部は3年生11人、2年生11人、1年生6人で活動してきました。活動は基本的に隔週1回で月に2回行っていました。

華道については、技芸講師の福島先生が学校に来てくださり、一人ひとりにとても優しく丁寧に教えてくださいます。私たちは、草月流という流派を習っています。毎回ちがうお花を使って自分たちなりに完成のイメージを持って生けています。バレンタインやハロウィンの時は可愛らしいお花を使ったフラワーアレンジメントをしたり、クリスマスのはりリースを作ったりしました。

また、今までなら西高祭で引退だったのですが、今年はコロナの影響で例年と同じ西高祭ができず、少し早い引退となってしまいました。自分たちの集大成を見せる場がなかったことは残念でしたが、最後までしっかりと部活に取り組むことができました。

かるた部

かるた部は1年生3人、2年生7人、3年生3人の計13人で活動をしてきました。

今年は大会もなくなり、部活ができる日が少なかったことで、かるた部のみんなでも過ごせる時間が減ってしまい本当に悲しかったけれど、その分、たくさんの思い出ができていたことに気がつきました。西高や他の高校のかるた仲間ができたこと。団体戦II部で優勝したときにみんな喜び合えたこと。かるたを使った遊びで楽しめたこと。1年生が自主練をしていると知って、かるた部がどんどん進化しているのを感じたこと。こんなにも多くの大切な思い出を作ることができたのは、かるた部がこのメンバーだったからで、みんながいたから私には一生の大切な思い出ができたのだと思います。

棋道部

棋道部は男子9人で毎週月・水・金曜日が活動日でした。活動内容は主に自由対局で、お互いがほどよい緊張感で対局し、対局を振り返る感想戦に取り組んでいます。時には、将棋の上手な先生をお招きして対局してもらったり、全国大会に出場した卒業生が指導に来てくれたりしており、部員は皆、大会当日のようなプレッシャーと空気に包まれます。そのため、たくさん成長することができます。

棋道部は同好会としての活動期間があり、部としての歴史はまだ浅く、まだまだ発展途上です。しかし、部員同士が一致団結することでお互いが刺激し合い、他の学校の棋道の方々とわたりあっています。

私達の目標は、三人一組の団体戦で全国大会に出場することです。そのためならどんな努力もいとわない覚悟で練習してきました。しかし、石川県は強豪校が多く、後輩たちには何とかして目標を達成してもらいたいと思います。

■ パソコン部

私たちパソコン部は、文化部ではありますが、部全体として外部の大会や交流会に出るなどといったことは、一度もありませんでした。

活動日は週1回で、文化祭前になると活動日を増やし、準備期間を設けています。文化祭では部員の創作物に加え、歴代の先輩の創作物も毎年展示していました。

今年度は例年とは異なりコロナウイルス感染拡大による休校のため、3年生の活動がほとんどできず、1・2年生に部活動の「いろは」や活動についてのアドバイスが満足にできなかったことには、悲しさと申し訳ない気持ちで胸が一杯です。私たちの代でも様々な新しいことにチャレンジしてきましたが、部活動としてはまだまだ発展の途中です。後輩にはより様々なチャレンジをして、経験値を獲得して欲しいと思います。

■ 茶道部

茶道部は、月曜日と木曜日の週2日で活動をしています。普段は小松先生のご指導のもと、お点前の稽古を行い、茶道の作法を身に付けられるように活動しています。また、先生から季節に合ったお花や言葉などのお話を聴いて、様々なことを学んでいます。部活内だけではなくて日常の振る舞いでも、茶道で学んだ礼儀作法を応用するようになりました。

毎年開催されている文化祭では、部員たち自らが設えを考えてお茶会を開きます。総文では、他校と茶道を通して交流をしました。普段と違う場所で行う茶道は新鮮味があり、良い体験をすることができました。

今年度は新型コロナウイルス蔓延の影響で活動は思ったようにできず、私は学校再開後すぐに引退となりました。しかし、茶道部での3年間を通して様々なことを学び貴重な体験をすることができました。

■ 家庭部

私たち家庭部は3年生11人、2年生9人、1年生1人の計21人で週に1、2回活動しています。最初はお互い緊張していましたが、一緒に班で活動することによってお互いの緊張も緩んできたと思います。

裁縫の活動では、自分の作りたいものを一年かけて完成に向かって一生懸命に取り組んできました。クロスステッチやティッシュケースなどを自分たちで決めて作りました。

月に1回の調理実習では、学年の垣根を越えていくつかのグループになって取り組んできました。ハロウィンの日にはお菓子を作るなど季節に合わせたものも作ったりしていました。

家庭部では毎年、西高祭で販売されるチーズケーキを作っています。今年はコロナの影響で作れなかったのが残念ですが、来年、再来年、ちゃんと西高祭ができるようになったら、またチーズケーキを作って販売してほしいと思います。

■ 英語研究部

私たち英語研究部、通称ESSは春に英語劇、夏にディベート大会、サマーセミナー（合宿）、秋にスピーチコンテスト、英語劇、冬にスピーチコンテスト、暗唱大会があります。

ESSの一番の魅力は、ALTの皆さんとたくさん話せることです。今はコロナの影響でできないかもしれませんが、大会や合宿などの県内のたくさんの高校が集まる時には、石川県内のALTが大集合します。まるで外国にいるような光景が圧巻です。ESSは文法や単語のようなテスト対策をするわけではないので英語の成績は全然上がりませんが、会話力が上がったり異文化の刺激を受けることができます。ALTの皆さんは気さくでノリがいい方ばかりなので、話していてこちらまでノリノリな明るい人間になってしまいます。そのせいでしょうか、1年の段階では「劇は裏方がいいです～」と言っていた私たちが「キャストやらせてください」と頭を下げるように…。

■ 吹奏楽部

私たち吹奏楽部は例年、石川県吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストをはじめ、西高祭や入学式などの式典、保育園や病院での演奏など、様々な活動を行ってきました。

これまでの行事の中で特に想い出深いのは、定期演奏会です。毎年行われている行事で、歴代の先輩方から受け継がれてきた気持ちを胸に、部員同士で時にぶつかり、支え合いながら成功させてきました。練習計画などを何度も話し合い、その結果をふまえて合奏などを繰り返し行うことで、たくさんの経験ができ、部活全体が大きく成長していきました。今年度は定期演奏会を実施することができませんでした。昨年度までの定期演奏会、昨年行った西高祭、保育園や病院での演奏やその準備からもたくさんのことを学ぶことができました。

■ 図書文芸同好会

僕たち図書文芸同好会は現在、3年生3人、2年生6人、1年生2人の計11人で活動しています。主な活動は週に2回図書室に集まって小説や詩、俳句、短歌などの作品を書く練習と、書いた作品の意見交換です。同好会の雰囲気はその年によっても変化しますが、今年はとても賑やかでした。

今年は開催されませんでした。毎年の総文では、松任駅前の「千代女の里俳句館」に石川県内の高等学校から文芸部・同好会が集まります。

総文が終わると学園祭の展示の話をします。内容は年によって変わりますが、僕が2年生の頃は一つのテーマに沿って文集を作ったり、1、2年生でクイズを作ったりしました。部員全員で協力し、準備した結果、とても良い学園祭の展示になりました。

■ 女子ダンス同好会

私たち女子ダンス同好会は今年結成されました。去年の夏頃から、ダンス部を作りたいという希望者が集まり、放課後に練習をしたり学校に貢献するために校内の清掃などを行ってきました。現在は2年生10人、1年生13人でそのほとんどが初心者ですが、みんなで仲よく教え合いながら日々練習を頑張っています。

目標は西高祭や軽音楽同好会とのコラボステージでの発表です。今年の西高祭では、1、2年生全員でのオリジナル、1年生の完コピ、吹奏楽部と2年のコラボステージ、オープニングとたくさん披露することができました。

今は、1月に校外で開催されるイベントに向けて新しい作品を作っています。今回は、自分達のしたいジャンルごとにグループを分け、EXILEや韓国アイドルグループの完コピにも挑戦しています。

恩師は今……

垣地 正樹 (校長)	石川県立小松高等学校
川口美江子 (副校長)	石川県立医王特別支援学校
木村智恵美 (国語)	石川県立羽咋工業高等学校
元林 裕二 (国語)	金沢高等学校
前田 勲 (国語)	石川県立小松北高等学校
岩島千津代 (地歴公民)	石川県立金沢中央高等学校
中西 善之 (地歴公民)	石川県教育委員会
中川久仁彦 (数学)	石川県立羽咋高等学校
三津野真澄 (理科)	石川県立金沢錦丘高等学校
多保田一真 (理科)	石川県立金沢錦丘高等学校
鎌田香代子 (理科)	石川県立松任高等学校
小池田美穂 (保健体育)	石川県立金沢中央高等学校屋間部
広瀬 任 (芸術)	退職
大賣 明德 (英語)	石川県立翠星高等学校
金子 宗睦 (英語)	石川県立金沢桜丘高等学校
清水 幸恵 (英語)	石川県立金沢錦丘高等学校
池田 信行 (英語)	退職
岩端由紀子 (家庭)	石川県立金沢泉丘高等学校通信制

進路状況

2021年3月卒業生310名の進路状況は、4年制大学が国公立大学70名(22%)、私立大学170名(55%)で合わせて240名(77%)、短期大学が19名(6%)、専門学校等が30名(10%)、就職が3名(1%)、未定が18名(6%)であった。地方別にみると、4年制大学は、北海道が1名(国公立大1)で0.3%、関東が16名(国公立大2、私立大14)で5.2%、中部が186名(国公立大61、私立大125)で60.0%、そのうち石川県内は149名(国公立大31、私立大118)で48.1%、近畿が31名(国公立大1、私立大30)で10.0%、中国が6名(国公立大5、私立大1)で1.9%であった。短期大学は、中部が17名で5.5%、そのうち石川県内は14名で4.5%、近畿が2名で0.6%であった。専門学校等は石川県内が24名で7.1%、石川県外が6名で1.6%であった。

大学入学共通テスト(以下、共通テスト)の出願者数は278名(90%)で、国公立大学の出願者数はのべ292名(推薦等30、前期146、後期74、中期・独自42)、受験者数はのべ232名であった。私立大学の受験者数はのべ1315名、そのうち共通テスト利用入試出願者数はのべ378名であった。短期大学の受験者数はのべ49名、そのうち共通テスト利用入試出願者数はのべ17名であった。既卒生を合わせた合格者ののべ数は、国公立大学88名(国立大36、公立大52)、私立大学704名、短期大学49名(うち国公立短大6)、専門学校43名であった。国公立大学の入試区分別合格者数は、学校推薦型選抜が16名、総合型選抜が1名、一般選抜が71名(前期54、後期9、中期8)であった。地方別にみると、北海道1名、東北1名、関東2名、中部77名(うち石川35)、近畿1名、中国6名であった。主な合格先は、名古屋工大(1)、金沢大(7)、富山大(19)、石川県立大(8)、石川県立看護大(5)、公立小松大(14)であった。金沢大の合格学類は、人文(1)、経済(1)、学校教育(1)、地球社会基盤(2)、生命理工(1)、理系一括(1)、富山大の合格学部は、人文(2)、人間発達(1)、経済(6)、理(1)、工(3)、芸術文化(3)、都市デザイン(3)であった。私立大学の入試区分別合格者数は、学校推薦型選抜が13名、総合型選抜等が12名、一般選抜が679名(うち共通テスト利用入試224)であった。地方別にみると、関東60名、中部521名(うち石川504)、近畿121名、中国2名であった。主な合格先は、青山学院大(1)、上智大(1)、東京理科大(2)、法政大(1)、明治大(2)、立教大(1)、同志社大(1)、立命館大(5)、関西大(1)、金沢工業大(140)、金沢星稜大(187)であった。

2017から2021年度入試の5年間でみると、進路状況は、平均で4年制大学が77%(国公立大20%、私立大57%)、短期大学が6%、専門学校が11%、就職1%、その他5%で年度による大きなばらつきは見られない。国公立大学においては、合格者数は、2018年度が94名で過去最高、2021年度は88名で過去3番目の多さであった。難関大では、北海道大に1名(2018)、東北大に1名(2017)、筑波大に1名(2020)の合格者を出した。金沢大には合計31名(人間社会16、理工12、医薬保健2、理系一括1、年度順では5、10、4、5、7)が合格。富山大には合計84名(人文2、人間発達9、経済27、理5、医4、工23、芸術文化8、都市デザイン6、年度順では14、19、11、21、19)が合格した。私立大学においては、ここ数年の入学定員管理の厳格化により入試が難化し、難関私立大の合格者数は減少傾向となった。主な大学の合格者数は、青山学院大5名、法政大2名、明治大8名、同志社大5名、立命館大27名、関西大10名、関西学院大3名、京都産業大128名、龍谷大42名、近畿大50名、金沢工大652名、金沢星稜大806名。県内私立大合格者数が全私立大合格者数に占める割合は、金沢星稜大24.9%、金沢工業大20.1%、北陸大8.1%、金沢学院大7.3%、金城大5.7%、北陸学院大3.1%、金沢医科大1.3%。また、短期大学においては、県内短大の全合格者数に占める割合は82.1%、専門学校においては、看護専門学校の全合格者数に占める割合は56.0%であった。

進路状況報告

大学等合格者数一覽(2017~2021年度入試)進路指導課

●国立大学

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
帯広畜産大				1	
北見工大					1
北海道大		1			
弘前大	1				
岩手大			1		1
東北大	1				
秋田大	2	1	1		
山形大		1			
筑波大				1	
宇都宮大	1	1			
上越教育大	2	2		1	5
新潟大	1	3		3	1
富山大	14	19	11	21	19
金沢大	5	10	4	5	7
福井大	1	2	2	2	
山梨大				1	
信州大	2	1	2		
名古屋工大				1	1
三重大					1
滋賀大			1		
鳥取大		1			
島根大	1		1		
山口大	1				
徳島大	2				
愛媛大		1			
高知大				1	
琉球大		2		1	
国立大合計	34	45	23	38	36

●公立大学

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
岩手県立大	2				
秋田県立大		1		2	
県立米沢栄養大	1				
高崎経大	6	1	2	1	1
前橋工科大	1				1
長岡造形大			1		
新潟県立大	1	1			
富山県立大	1	3	5	1	2
石川県立大	10	6	6	9	8
石川県立看護大	3	4	4	6	5
金沢美術工芸大	1		1	2	1
公立小松大		19	12	21	14
福井県立大	2	4	1	3	6
都留文科大学	1	1		1	3
諏訪東京理大					1
山梨県立大			1		
長野大	3	3	1		1
長野県立大		1	1		3
愛知県立大		1			
滋賀県立大	1				
福知山公立大				2	
兵庫県立大	1	1			
奈良県立大	1				
公立鳥取環境大				2	
島根県立大		1		1	1
岡山県立大			1		
新見公立大			1		
尾道市立大	3		1	1	2
広島市立大		2		1	3
広島市立大		1			
下関市立大	1				
名桜大				1	
公立大学合計	39	49	40	52	52
国公立大学合計	73	94	63	90	88

●私立大学

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
常盤大		2			
流通経済大			1		
国際医療福祉大	1	2			
群馬バース大	1				
城西大	2				
東京国際大				1	5
獨協大	1				
日本工大			1		
文教大					1
江戸川大		1			
川村学園女子大		1			
国際武道大			1		
淑徳大	1		1		
城西国際大	1				
千葉工大			4		
青山学院大		1	1	2	1
亜細亜大	2				
桜美林大			1		
大妻女子大					1
北里大			1		
国士舘大	1	1	1	1	
駒澤大	3		3	2	
駒沢女子大	1				
産業能率大		1		1	
順天堂大			1		
上智大					1
白百合女子大			1		
杉野服飾大				1	

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
成蹊大				2	
成城大	2				
専修大	1		3	2	1
創価大					10
大東文化大					1
拓殖大	2	1		1	
玉川大		2		1	
帝京大	6	2		2	1
帝京平成大		1			
東海大		1	1	4	6
東京家政大		2	1		
東京経大			1		
東京工科大			3		
東京芸芸大	2	1			1
東京女子体育大		2			
東京聖栄大			1		
東京電機大				1	
東京都市大				1	
東京農大	2				
東京理大					2
東洋大	1	2	3	2	4
東洋学園大	1		1		
日本大	2	3	3	5	6
日本女子体育大		1		1	4
文化学園大	1		1	1	1
法政大				1	1
武蔵野大					2
文化学園大				1	1
明治大	2	1	1	2	2
明治学院大					1
目白大			1		
立教大					1
立正大				2	
明星大					2
神奈川大	3	2	5	1	3
神奈川工科大	1		1		
鎌倉女子大	1				
松蔭大	1				
湘南工科大		1	1		2
桐蔭横浜大				1	
新潟医療福祉大	7		4	1	2
新潟経営大				1	
新潟工科大			1	1	
新潟産大	1				
高岡法大	2			4	4
富山国際大	1		2		
金沢医大	7	8	11	14	3
金沢学院大	41	46	45	51	53
金沢工大	170	122	110	110	140
金沢星稜大	160	146	161	152	187
金城大	38	51	21	50	25
北陸大	25	55	46	62	73
北陸学院大	19	21	26	12	23
仁愛大	5	2	2	4	2
福井医療大		1		1	
福井工大	32	13	10	11	2
諏訪東京理大	2				
松本大		1			
岐阜女子大		1			
中部学院大	3				
東海学院大			1	1	
静岡理工科大			1		
愛知学院大	6	2		1	3
愛知工業大					1
愛知淑徳大				1	
至学館大		1			
修文大					1
相山女学園大	1				
中京大	12	6	2	2	1
中部大	8	5	1	1	
東海学園大	1			1	
同朋大		2			
名古屋外大	3				
名古屋学院大	9	1	1	8	
名古屋学芸大	3		1		
名古屋商大	2				
名古屋女子大	2	1			
名古屋造形大		4			
名古屋文理大		2			
南山大				3	
日本福祉大	4			1	
名城大	3		3		
皇学館大			1		1
鈴鹿医療科学大	2				
四日市大			1		
成安造形大	1		1	3	1
長浜バイオ大		4			2
びわこ学院大					2
大谷大		1			2
京都外大	1	1			1
京都光華女子大			1	2	
京都産業大	53	20	10	14	31
京都女子大	6			1	
京都精華大			2		1
京都先端科学大				2	1
京都造形芸大				2	
京都橘大	3			1	3

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
ノートルダム大			1		
京都文教大			1		
同志社大	1	1	1	1	1
同志社女子大	2				
花園大	1				
佛教大		3		6	
平安女学院大			1		
立命館大	4	10	4	4	5
龍谷大	14	5	10	4	9
追手門学院大	1		1	2	
大阪大谷大					1
大阪学院大				2	1
大阪経大	6	2	5	2	4
大阪経済法科大	4	1			3
大阪芸大				1	
大阪国際大			1		1
大阪産大	8	1		4	16
大阪商大	1				2
大阪樟蔭女子大	1		1		2
大阪体育大				2	
大阪成蹊大			1		
大阪電気通信大	2		2		
大阪人間科学大	1				
関西大	4	3	1	1	1
関西外大	7		3		2
関西福祉科学大	1		3	1	
近畿大	18	8	2	7	15
四天王寺大					4
摂南大	2	2	3		
千里金蘭大	1				
桃山学院大		6			6
桃山学院教育大				3	
森ノ宮医療大					1
大手前大	1				
関西国際大					5
関西学院大	1		2		
甲南大	1				
神戸学院大		1	2	2	2
神戸松蔭女子大				10	
神戸女子大		1			
神戸親和女子大			1		
帝塚山大					1
奈良大	1	2	3	1	
岡山理大	1			4	
広島工大					1
広島修道大	1				
福山大				1	
安田女子大		1			1
西南学院大				1	
福岡大				1	
私立大合計	760	595	559	622	704

●短期大学

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
大月短大					1
岐阜市立女子短大		1			2
静岡県立短大				1	2
三重短大					1
国学院北海道短大				1	
青山学院女短大	2				
有明教育芸術短大			1		
大妻女短大		2			1
女子栄養短大		1			
創価女短大					1
帝京短大		1			
東京交通短大			1		
目白短大		1			
富山短大			1		
金沢学院短大	1	1	1	12	2
金沢星稜女短大	40	16	26	35	23
金城女短大	8	4	2	3	7
北陸学院女短大	4	5	5	5	
小松短大	6				
仁愛女短大					2
愛知学院女短大				1	
名古屋文理女短大		1			
大谷女短大	1				
京都外語短大					1
龍谷女短大	1				
大阪芸術女短大		2			1
大阪成蹊短大	1				
関西外女短大	2	1			4
武庫川女短大				3	
奈良芸術短大		1			
比治山女短大					1
九州女子短大		1			
短大合計	66	38	37	61	49

●専門学校

学 校 名	2017	2018	2019	2020	2021
石川県総合看専	11	16	17	16	9
金沢医療看護専	12	14	16	16	10
金沢看護専	11	9	14	7	4
石川県立保育専		1	8	6	4
専門学校合計	64	63	80	75	43

新聞の中の母校

壁一面に映像
3年生応援

金沢西高の「西高祭」は1日、いしかわ総合スポーツセンターで開かれ、同校音楽部が壁一面を使って3年生を紹介するプロジェクト「シオンマッピング」を映した。音楽部は今年4月、前身である合唱部の活動を広げるため新設された。新型コロナウイルスの影響で、歌声を披露するステージができない中、受験を控える3年生を応援しようと企画した。

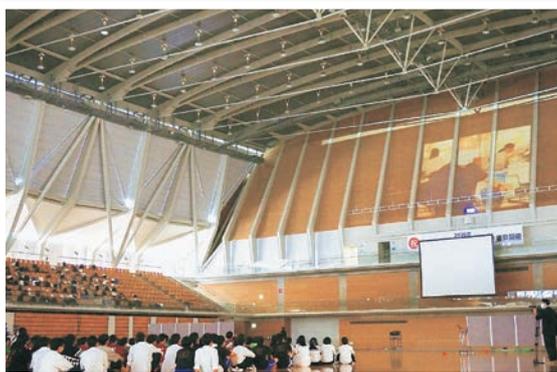
西高祭 合唱部前身の音楽部



壁一面に映し出された動画
「いしかわ総合スポーツセンター」

ヨー形式で流した。音楽部員13人は各部活を訪ね、300枚以上の写真を撮影した。1年の浦楓佳部長(16)は「1カ月半の短い期間で、たくさん写真を撮る集めて流せてよかった」と笑顔を見せた。SDGsに関する動画の発表もあった。

北國新聞(令和3年9月2日)



おしらせ

同窓会からのお知らせ

石川県立金沢西高等学校創立50周年事業について

記念式典 令和5(2023)年9月30日(土)

祝賀会 同日

- 記念事業
- ① 母校への寄贈事業
 - ② 記念祝賀会の開催
 - ③ 同窓会報の発行
 - ④ 同窓会会員情報の更新
 - ⑤ 事業への賛助募金の実施
 - ⑥ その他

石川県立音楽堂コンサートホール
ANAクラウンプラザホテル金沢
※新型コロナウイルス感染状況により変更となる
こともございます。



編集後記

母校である石川県立金沢西高等学校は、令和5年秋に創立50周年を迎えます。あと2年に迫る中、学校と連携して立派な式典にすべく同窓会をあげて取り組みたいと考えています。多くの同窓生のご協力を心からお願いしたいと思います。



石川県立
金沢西高等学校
同窓会

飛 翔

〒920-0344 石川県金沢市畝田東3-526
TEL 076-268-4321/FAX 076-268-7329
URL <https://www.ishikawa-c.ed.jp/~nishih/>

印刷・デザイン ヨシダ印刷株式会社
〒921-8546 石川県金沢市御影町19番1号
TEL 076-241-2141/FAX 076-243-4515
URL <https://www.yoshida-p.jp/>